

令和3年度使用中学校用教科用図書採択結果等について

採択地区名 江田島市

種 目	発行者	採 択 理 由
国 語	光村	<ul style="list-style-type: none"> ○第3学年「故郷」において、教材の初めと後に目標を示すとともに、単元名と単元の目標を示しているため、それぞれの目標が分かりやすい。 ○各学年、本編で読書単元を2つ設定し、3年間で合計277冊の書籍を紹介するとともに、資料編で読書活動に関わる教材を設定し、読書活動に繋げる工夫がみられる。 ○各学年に情報整理の方法を「情報処理のレッスン」一覧、情報と情報の関係を「思考のレッスン」一覧として巻末資料に掲載しており活用しやすい。 ○学習過程について「集める・整理する」「組み立てる」「表現する」「振り返る」等の段階の具体的な内容と関連する教材名を示しており分かりやすい。 ○本編、巻末資料（学習を広げる）の2部で構成されている。 ○グループディスカッションやプレゼンテーション等の単元とともに、資料として話し合いの方法を掲載しており、言語活動の充実を図る工夫がみられる。
書 写	教出	<ul style="list-style-type: none"> ○小単元ごとに示し、「目標」と明記しているため分かりやすい。 ○巻頭の「書写をとおして学んでいくこと」は、何を、どのように学び、身に付けた力がどのように広がるのかを示しており、見通しをもたせる工夫がみられる。 ○「振り返ろう」は、評価の観点を示し、観点に沿って自己評価を記入する欄があり、振り返りをさせやすい。 ○第3学年に硬筆記入欄がある。 ○各学年に「学習を生かして書く」があり、レポート、手紙などを書く教材を設定しており、具体的な例が活用しやすい。 ○巻末資料「書式の教室」は、手紙、封筒、はがきなどの書式について多くの資料を掲載しており、日常生活に広く活用できる。
社 会 (地理的分野)	東書	<ul style="list-style-type: none"> ○地理的分野の基礎的・基本的な技能を身に付ける「スキル・アップ」を設けるとともに、本文の学習内容を説明したり、関連する内容を掲載したりする「地理にアクセス」を設けている。また、巻末に用語解説、章末等のまとめには学習内容を確認する場を設けている。地理の見方・考え方を活用する場を示し、知識・技能を身に付けさせる多くの工夫がみられる。 ○「日本の諸地域」の単元の導入において、小学校の学習内容との関連を示すとともに、学習の視点、写真、キャラクターの吹き出し、学習内容についての説明文を掲載しており、興味・関心を引き出す工夫がみられる。 ○「世界の諸地域」において、写真171点、絵図12点、地図52点が掲載されており、学習内容と関連付けがなされた資料が多く、有効である。 ○各章末等にある「まとめの活動」において、思考ツールを用いてまとめる方法を示すとともに、学習内容を踏まえて説明する探究課題を示しており、目的に応じて適切に表現する力を育てることに有効である。
社 会 (歴史的分野)	東書	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的分野の基礎的・基本的な技能を身に付ける「スキル・アップ」を設けるとともに、各章末に「基礎・基本のまとめ」を設けて基礎的な用語を振り返る場を設定し、知識・技能を身に付けさせる多くの工夫がみられる。 ○資料に「国宝」「重要文化財」「世界遺産」「世界の記憶」「無形

		<p>文化遺産」のマークを示すとともに、巻頭に「日本の国宝・重要文化財」がまとめてあり、分かりやすい。</p> <p>○「近世の日本」の単元の導入において、絵図と人物や歴史的事象のイラストを用いた年表を掲載し、キャラクターの問いを示すとともに、学習の流れ、探究課題、資料を読み取る活動を示し、主体的な学習につなげる多くの工夫がみられる。</p> <p>○各章末にある「まとめの活動」において、思考ツールを用いてまとめる方法を示すとともに、時代の特色をまとめる課題を示しており、目的に応じて適切に表現する力を育てることに有効である。</p>
<p>社会 (公民的分野)</p>	<p>東書</p>	<p>○公民的分野の基礎的・基本的な技能を身に付ける「スキル・アップ」を設けるとともに、各章末に「基礎・基本のまとめ」を設けて基礎的な用語を振り返る場を設定し、知識・技能を身に付けさせる多くの工夫がみられる。</p> <p>○「私たちと経済」の単元の導入において、3枚の写真を掲載し、キャラクターの吹き出しで問いを示すとともに、導入の活動、学習の流れ、探究課題を示し、興味・関心を引き出す工夫がみられる。</p> <p>○「民主政治と政治参加」においては、学習課題を「S市の市長になって条例を作ろう」とし、理想のまちを創るための市民の声を参考にし、解決策から具体的な条例案を考える活動を設定している。また、「18歳へのステップ」で選挙の流れを掲載しており、学習したことを生かし、社会参画への意識を高めるのに有効である。</p> <p>○各章末にある「まとめの活動」において、思考ツールを用いてまとめる方法を示すとともに、学習内容を踏まえて説明する探究課題を示しており、目的に応じて適切に表現する力を育てることに有効である。</p>
<p>地 図</p>	<p>帝国</p>	<p>○巻頭に地図活用ヒントとなるマークについて記載しており、防災・環境・日本との結び付きの視点を示すとともに、各州・地方の資料ページなど各所に、「地図活用」のコーナーを設定し、地図の読図や比較を通して、地図から分かることを整理したり、説明したりできるような問いを示しており、思考力・判断力・表現力等を高める工夫がみられる。</p> <p>○資料等の活用の示し方として、地図活用の技能を身に付けるための問いとして「地図活用」のマークを記載するとともに、資料図のページで扱ったテーマに対して、図を見るときに着目する視点を示すため「学習課題」を設定しており、学習内容と関連付ける工夫が多くみられる。</p> <p>○縮尺が大きいので、見やすい。</p> <p>○巻頭に「地図帳の使い方」として、オーストラリアを例に地図を活用した調べ方を記載しており、調べ学習に地図帳を活用させやすい。</p> <p>○「学習課題」や「地図活用」のコーナーを設定し、地図から分かることを整理したり、説明したりできるような問いを100か所程度記載しており、適切に表現する力を育てる工夫がみられる。</p>
<p>数 学</p>	<p>東書</p>	<p>○第2学年の文字を用いた式の四則計算を扱った単元において、学習の導入で、学習の手がかりになる問いかけを示している。また、ページ端に「ちょっと確認」を掲載し、既習事項を確認できるようにするとともに、「まちがい例」を示し、誤りを正す活動を設定しており、学習内容の定着や既習事項の確認のための工夫がみられる。</p> <p>○巻末の活用に関する問題は、第1学年13問、第2学年11問、第3学年10問で、問題解決的な学習の実施に適した問題が掲載されている。</p> <p>○「データの活用」で複数のデータの分布を比較する際に箱ひげ図を用いて説明する活動において、ヒストグラムと箱ひげ図を対応させて話し合う場を設定しており、既習事項を関連させる言語活動の工夫がみられる。</p> <p>○各学年の巻頭にノート書き方を示すとともに、単元中にノート例として考えや感想の書き方について示している。扱った内容のまとめ方を例示しており、具体的で活用しやすい。</p>

理科	東書	<p>○補充的な学習としての単元末問題のページ数は、43.5 ページであり、補充的な学習が充実している。</p> <p>○各学年の巻頭に「科学で調べていこう」として探究の過程を示すとともに、ページ下部に「問題発見」、「仮説」、「実験」、「分析解釈」等のキーワードで探究の過程のどの段階を学習しているのかを示しており、探究する力の育成を図る工夫がみられる。</p> <p>○発展的な学習の取扱いに関する内容は、マークで示しており、発展的な内容が充実している。</p> <p>○観察、実験を計画する視点については、「構想 調べ方を考えよう」等により示し、分析・解釈する視点については、「結果の見方」、「考察のポイント」、「分析解釈 考察しよう」等により示しており、考えたり、まとめたりする活動の工夫がみられる。</p>
音楽 (一般)	教芸	<p>○学習目標を教材ページの左端に縦書きで示すとともに、教材名の下には活動の視点を示している。また、学習内容のページに、学習内容と三つの資質・能力との対応や教材を示しており、学習目標達成のための支援となっている。</p> <p>○「創作」における学習活動については、各学年とも「My Melody」「Let's Create!」を設け、旋律と旋律以外の創作活動が区別されており、分かりやすい。</p> <p>○創作活動を歌唱や鑑賞分野と関連させながら配列しているため、系統性をもたせた指導がしやすい。</p> <p>○〔共通事項〕の指導を充実させる工夫として、全学年、学習内容とともに「音楽を形づくっている要素」を記載しており、活用しやすい。また、資料のページにも音楽を形づくっている要素の内容を記載している。</p> <p>○第1学年の教材曲「春 第1楽章」においては、「音楽を聴き、それぞれの部分について、聴き取ったことと、感じ取ったことを書き入れましょう。」等と示し、記入する表を記載するとともに、交流を促す言葉を記載しており、音楽の特質に応じた言語活動の工夫がみられる。</p>
音楽 (器楽合奏)	教芸	<p>○学習目標を教材ページの左端に縦書きで示すとともに、教材名の下には活動の視点を示している。また、学習内容のページに、学習内容と三つの資質・能力との対応や教材を示しており、学習目標達成のための支援となっている。</p> <p>○本文中の資料として「日本音楽の楽器編成」「バンドの世界をのぞいてみよう」、巻末に「リコーダーの運指表」「ギター／キーボードコード表」「楽器の図鑑」「音楽の約束」「楽しもう！和楽器の音楽」を掲載しており、様々な楽器への興味・関心を高める多くの工夫がみられる。</p> <p>○「アンサンブルセミナー」のページでは、ページ左端に、学習内容に即した音楽を形づくっている要素をマークで示しており、分かりやすい。</p> <p>○創作表現については、「My Melody」を設定している。都節音階と律音階のどちらかを選んで旋律を作る活動においては、創作の流れを示すとともに、学習したいいろいろな奏法（かき爪、割り爪、押し手、押放、引き色、合せ爪）の活用を促す言葉を掲載しており、基礎的な奏法の活用を図るための広がりのある学習活動の工夫がみられる。</p> <p>○「曲想を感じ取って、表情豊かに演奏しよう」の教材曲「聖者の行進」では、学習過程を示し、段階的に具体的な活動を示すとともに、「長くのばす音にはどんなアーティキュレーションを使えばいいかな?」「アーティキュレーションを工夫すると、より表情豊かな演奏になるね。」等の表現の工夫に繋がる視点示しており、思考力・判断力・表現力の育成を意識し、音楽の特質に応じた言語活動を位置づけている。</p>

美術	光村	<ul style="list-style-type: none"> ○巻末に「学習を支える資料」を設け、形や色彩、材料や用具の取り扱い及び表現方法等に関する資料を幅広く掲載するとともに資料が充実しており、基礎的・基本的な内容の定着に活用しやすい。 ○作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で示した作品を10点、和紙のような風合いのある紙やトレンシングペーパーを使用した作品を3点掲載するとともに、作品の横に人物のシルエットを示し、作品の大きさを実感できる作品があり、興味関心を高める様々な工夫がみられる。 ○題材を分野等に分けて配列し、第1学年、第2・3学年の2冊で構成している。第2・3学年を1冊にまとめてあり、使いやすい。 ○ポスターを題材とした鑑賞の場面については、第2・3学年「メッセージを伝える」において、作家や生徒の作品を掲載し、表現意図や作者の言葉を示すとともに、表現の工夫について考えを深めるための話し合いを促す記述を示しており、言語活動の充実に活用しやすい。
保健体育	大日本	<ul style="list-style-type: none"> ○習得すべき基本用語を学習の終わりに「キーワード」として示し、本文中で太字表記するとともに、各章末に「重要な言葉」として解説を掲載している。また、各章末に「まとめの問題」を示し、ウェブサイト上にある動画や資料を使って学習ができるようにしており、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る工夫がみられる。 ○巻頭に1時間の学習の流れを示すとともに、「つかもう」で課題を発見する活動を、「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」で資料等を活用しながら取り組む様々な活動及び課題を示しており、主体的に学習に取り組ませるための工夫がみられる。 ○「活用して深めよう」で学習したことを自分の生活に活かす活動を示すとともに、各章末に学習をより深く理解するための課題「学びを活かそう」を設定しており、実践力の基礎を育てる様々な工夫がみられる。 ○本文中に学習内容に関連した写真やイラストを掲載し、資料と本文のページを分けて示しており、分かりやすい。また、「トピックス」で、学習内容に関連した読み物資料を掲載している。
技術・家庭 (技術分野)	東書	<ul style="list-style-type: none"> ○各内容とも、項目ごとに学習の目標を示しており、「～を知る」と記述されたものより、「～ができる」と記述されたものが多く、できることを目指した目標設定の工夫がみられる。 ○各内容の初めに、「技術の見方・考え方」、及び「技術の最適化って何だろう」を掲載し、身近な製品の具体例とともに、既存の技術の工夫について示している。また、1編「材料と加工の技術」1章の終わりに「チェック技術の見方・考え方」を掲載するとともに、各編の初めに技術の見方・考え方を示しており、「技術の見方・考え方」を意識させる多くの工夫がみられる。 ○実践的・体験的な学習を実施するための具体例は、A材料と加工の技術、B生物育成の技術、Cエネルギー変換の技術、D情報の技術、統合的な問題の解決について、39例掲載されている。具体例が多く、活用しやすい。 ○「他教科」マークを掲載し、中学校の各教科等の学習内容との関連について、教科、学年、関連内容を示すとともに、「小学校」マークを掲載し、小学校の各教科等の学習内容との関連について、教科、関連内容を示している。これらについては、「D」マークを示し、関連する他教科の内容をコンテンツとして見ることができ、各教科と関連させて学習を進める工夫がみられる。また、「リンク」を示し、他の技術・家庭の内容と関連するページを示している。

<p>技術・家庭 (家庭分野)</p>	<p>東書</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「D」マークを示し、コンテンツ等を利用して動画等で学習に関わりのある参考資料等を見ることができ、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る工夫がみられる。 ○「生活の課題と実践の進め方」として、生活の課題と実践の進め方、課題の決め方、まとめと発表の仕方及び、12の実践例を掲載している。実践例が多く、活用しやすい。 ○「B 衣食住の生活」の日常食の調理における調理実習例は、52例掲載されており、布を用いた物の製作例は、16例掲載されている。調理実習例、製作例ともに、実践的・体験的な学習の具体例が多く掲載されており、活用しやすい。 ○本文の書体は、ユニバーサルデザインフォントを使用し、実習・製作の作業手順を横向きの配置に統一している。また、調理については写真を掲載し、作り方の手順と写真をリンクさせ、手順ごとに区切って分かりやすく説明してあり、視覚的に理解しやすい。 ○主に「活動」のマーク及び「話し合ってみよう」や「考えてみよう」などのマークで示されているところで、生活をよりよくするための方法を考えたり、説明したりする活動を取り上げ、活動数が多く、言語活動の充実を図る工夫がみられる。
<p>英語</p>	<p>光村</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○文法のまとめの後に再度本文を読み、使われている文法を探す「Active Grammar」及び意味の確認をする「Grammar Hunt」を設定し、文法事項の定着を図る工夫がみられる。 ○全学年に「Your Coach」があり、辞書の使い方や英文の書き方等を掲載するとともに、「英語の学び方ガイド」を掲載し、主体的な学習につなげる多くの工夫がみられる。 ○学習到達目標の記載について、第1学年では、領域ごとに学年の学習到達目標を設定し、それぞれ4段階で自己評価できるとともに、学習到達目標ごとに関連する主な教材を示している。自己評価欄を設けており、学年の学びを振り返る活動で活用しやすい。 ○Unitの「Listen & Read」は、Listen, Speak, Writeの活動で、インプットと小さなアウトプットを繰り返し、習得の流れを作るとともに、Goalは、ListeningやSpeakingなど単元の目標となる言語活動を設定している。また、帯教材の「Let's Talk」は、3学年共通のテーマで、自分や相手のことについて、その場でやり取りすることができることを目標に活動を設定しており、対話的な学びを促す言語活動の工夫がみられる。
<p>特別の教科 道徳</p>	<p>日文</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○目次に教材文等を示すとともに、道徳科の学び方について、第1学年では、4つの視点ごとに1年間で学ぶ内容項目を示すとともに、イラストや写真を使い、道徳科での学び方を「気づく」「考え、議論する、深める」「見つめる、生かす」で示している。また、テーマと教材文が示されており、学習の内容が分かりやすい。 ○問題解決的な学習に適した教材は、目次及び該当ページにマークを示すとともに、教材文の後に問いを示し、主体的な学習につなげる工夫がある。 ○いじめを扱った教材とコラムを組み合わせ、ユニットを設け、各学年に複数配置している。また、コラム「プラットフォーム」では、いじめについての詳しい説明を記載し、いじめ問題等について繰り返し、深く考えさせる工夫がみられる。 ○別冊「道徳ノート」に、授業で学んだこと等について振り返る欄を設けるとともに、巻末には、道徳の学習で印象に残ったこと等を記入する保護者記入欄付きの振り返りのページを設け、各授業及び1年間の振り返りを充実させる工夫がみられる。また、別冊ノートの構成により、振り返りに活用しやすい。